真理子先生の

女性のミカタ

子宮体がん

真理子レディースクリニック
院長
伊藤 真理子
●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田総合病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

子宮がんには子宮頸(しきゅうけい)がんと子宮体(しきゅうたい)がんがあり、このうち子宮体がんは子宮体部、つまり子宮の奥の方の内側にある子宮内膜に発生するため子宮内膜がんとも呼ばれます。

確かな原因は不明

子宮内膜は月経の時に剥がれ落ちる部分です。ヒトパピローマウイルスへの感染が原因だと分かっている子宮頸がんとは異なり、子宮体がんは他のがん同様、確実な原因は分かっていません。

ただ女性ホルモンの影響を受けやすく、月経不順や出産経験のない方、閉経後の方に多い病気です。

乳がんのホルモン薬物治療、更年期の女性ホルモン補充療法などでもリスクが高まりますので、検査を行います。未婚の方、肥満の方、糖尿病の方もハイリスクです。

症状は異常出血

症状は、異常子宮出血が多く、腹痛やおりものから始まる場合も。更年期や閉経後の出血は特に心配ですね。月経以外の出血は一度は診てもらいましょう。閉経後は薄くなるはずの子宮内膜が厚い場合は子宮内膜細胞検査を行います。

山形市の場合、次の様な症状のある方は体がん検査も頸がん検査と併せて行うこともできます。

検診で子宮体がん検査の対象となる方

6ヵ月以内に以下の症状があった方

異常子宮出血
月経異常
褐色のおりもの

ただ集団検診では受けられないこともあります。原則、何らかの症状がある方は健康診断ではなく産婦人科受診がオススメです。

治療は手術が基本

子宮内膜細胞検査で異型細胞やがん細胞が出たら治療が必要です。子宮体がんの治療は原則として手術です。妊娠をご希望の場合や、ごく一部の条件が満たされた場合のみホルモン剤の治療など子宮を残す可能性を考えます。ただ病気が再び発症するリスクは低くはありません。

月経以外の出血や閉経したのに出血が起こった方は、早めに産婦人科で診てもらいましょう。

〈産婦人科〉
真理子レディースクリニック
☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35
●受付時間
【平日】午前/8時30分～12時
午後/14時～17時
【木曜】午前/8時30分～11時
【土曜】午前/8時～11時
●休診日
日・祝祭日
木・土曜日は午後休診となります。